

保健所でのH I V検査スケジュール（拡充分）

保健所でのH I V検査を、通常時よりも拡充（検査日の追加）します。
ぜひこの機会に受検をお願いします

令和8年度 H I V検査普及週間 検査日程

検査・相談 機関名	問合先 電話番号	検査実施日・時間	検査の種類	夜間	休日	予約
北部保健所	0980-52-5219	[6/3 (水)] 13:30、14:00、14:30、15:00 (4枠)	即日検査			必要
中部保健所	098-938-9701	[6/1 (月)] 9:00~10:30 [6/2 (火)] 9:00~10:30 [6/4 (木)] 9:00~10:30	即日検査			必要
南部保健所	098-851-3555	[6/4 (木)] 9:00~14:00	即日検査			必要
宮古保健所	0980-73-5074	[6/1 (月) ~ 6/5 (金)] 9:00~11:00、13:00~15:00	即日検査			必要
八重山保健所	0980-82-4891	[6/3 (水)] 13:00、13:30、14:00 (3枠) [6/6 (土)] 13:30、14:00、14:30、15:00 (4枠)	即日検査			必要
那覇市保健所	098-853-7972	即日検査 [6/1 (月)、6/3 (水)、6/4 (木)、6/5 (金)] 13:00~14:40 通常検査 [6/2 (火)] 9:30~11:15	即日検査 通常検査			必要

「即日検査」とは、問診・採血を実施してから、1~2時間後に検査結果をお知らせする検査です。

「通常検査」とは、検査日から1~2週間後に検査結果をお知らせする検査です。

保健所でのH I V検査スケジュール（通常時）

令和8年度 HIV検査日程

検査・相談 機関名	問合先 電話番号	検査実施曜日・時間	検査の種類	夜間	休日	予約
北部保健所	0980-52-5219	第2・4火曜日 9:00~10:00 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査			必要
中部保健所	098-938-9701	毎週火曜日 9:00~10:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査			必要
南部保健所	098-851-3555	毎月、第1・3週の木曜日 9:00~10:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査			必要
宮古保健所	0980-73-5074	毎週火曜日、木曜日 9:00~11:00、13:00~15:00 予約可能日については直接お問い合わせください	即日検査			必要
八重山保健所	0980-82-4891	毎週水曜日 13:00~14:00 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査			必要
那覇市保健所	098-853-7972	那覇市ホームページをご確認ください https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/1006351/1006355.html	即日検査 通常検査			必要

「即日検査」とは、問診・採血を実施してから、1~2時間後に検査結果をお知らせする検査です。

「通常検査」とは、検査日から1~2週間後に検査結果をお知らせする検査です。

H I V 検査が受けられる医療機関

現在、沖縄県内では検査に協力していただける11ヵ所の医療機関にて、有料ではありませんが、H I V 検査の受検ができます。

【中部地区】

1. 中部徳洲会病院
電話：098-923-1092 住所：中頭郡北中城村字比嘉801番地
2. 名嘉病院
電話：098-956-1161 住所：嘉手納町字嘉手納258
3. ファミリークリニックきたなかぐすく
電話：098-935-5517 住所：北中城村字喜舎場360-1
4. ちばなクリニック
電話：0570-09-1301 住所：沖縄市知花6-25-15

【南部地区】

1. アドベンチストメディカルセンター
電話：098-946-2833 住所：中頭郡西原町字幸地868番地
2. なしろハルンクリニック
電話：098-877-7777 住所：浦添市屋富祖3-34-2 メディカルプラザたろう3階
3. 名嘉村クリニック
電話：098-870-6600 住所：浦添市伊祖3-8-15

【那覇市】

1. クリニックおもろまち
電話：098-868-2105 住所：那覇市おもろまち4丁目6-20
2. JOYレディースクリニックくもじ
電話：098-943-2500 住所：那覇市久茂地1-8-16
3. 那覇ゆい病院
電話：070-1990-5835 住所：那覇市古島1-22-1
4. 那覇NICE救急クリニック
電話：098-963-5601 住所：沖縄県那覇市泉崎1-9-19 Graviton3階

「HIV及び梅毒郵送検査」の実施について

保健所等で実施する HIV 郵送検査の手引き

令和7年6月

厚生労働省

健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課

1

(令和7年6月17日 厚生労働省通知より)

検査機会の拡充は全国的な課題である中、民間検査会社等で実施されてきたHIV郵送検査は、**受検時間に制限がないという利便**があるとして、その活用に期待がされてきました。令和7年6月17日に厚生労働省より「保健所等で実施するHIV郵送検査の手引き」が示されました。また、全国的に感染拡大中の梅毒もその対象となりました。

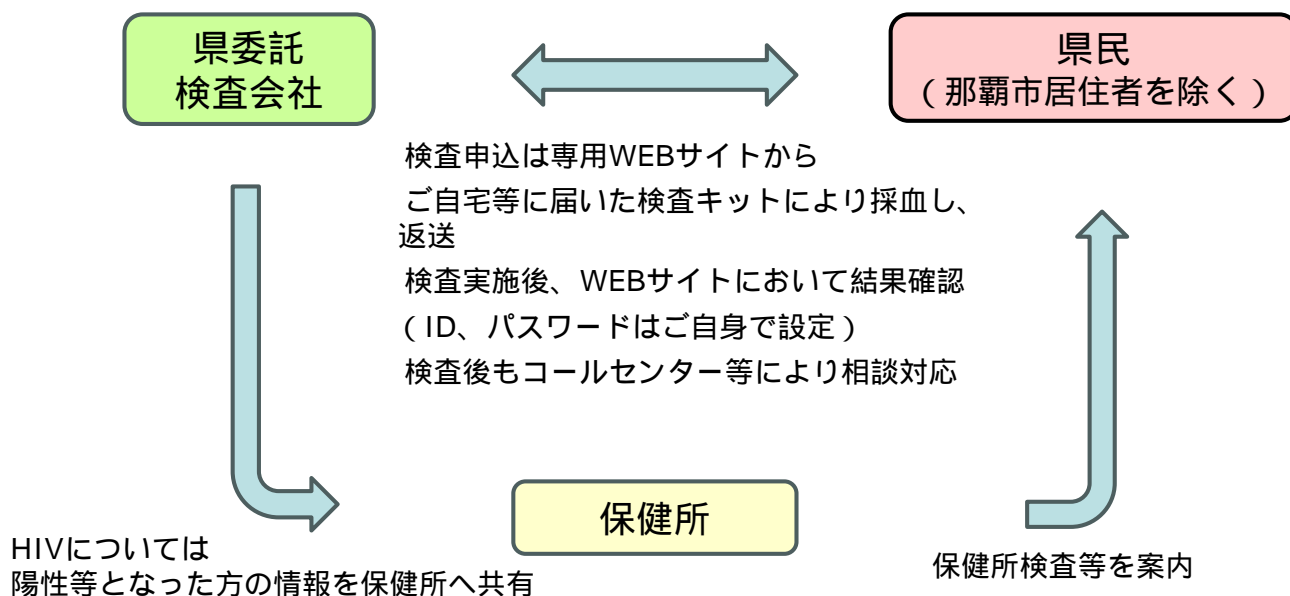
郵送検査のメリット

1. 受付期間内であれば受検時間に制限が無い
2. 対面での検査を避けられる

離島の多い本県においては、**地元の保健所検査は受検しにくいという課題の解消**にも期待がされます。

令和7年度はHIV及び梅毒の郵送検査を100件分実施しました。令和8年度は400件に拡充し、HIV検査普及週間に合わせて受付開始します。

「HIV及び梅毒郵送検査」の利用の流れ



「HIV及び梅毒郵送検査」の対象者等

対象者：沖縄県民（那覇市居住者を除く）

検査数：400件（数に達し次第、終了）

申込方法：専用WEBサイトより（URLは以下参照）

受付時期：令和8年6月1日から翌年2月中旬ごろ

検査費用：550円（検査キット送付及び返送代のみ受検者負担）

匿名受検：匿名可。ただし、申請時に検査会社等からの連絡用として
メールアドレス、電話番号の登録が必要

郵送検査キット申込みページ

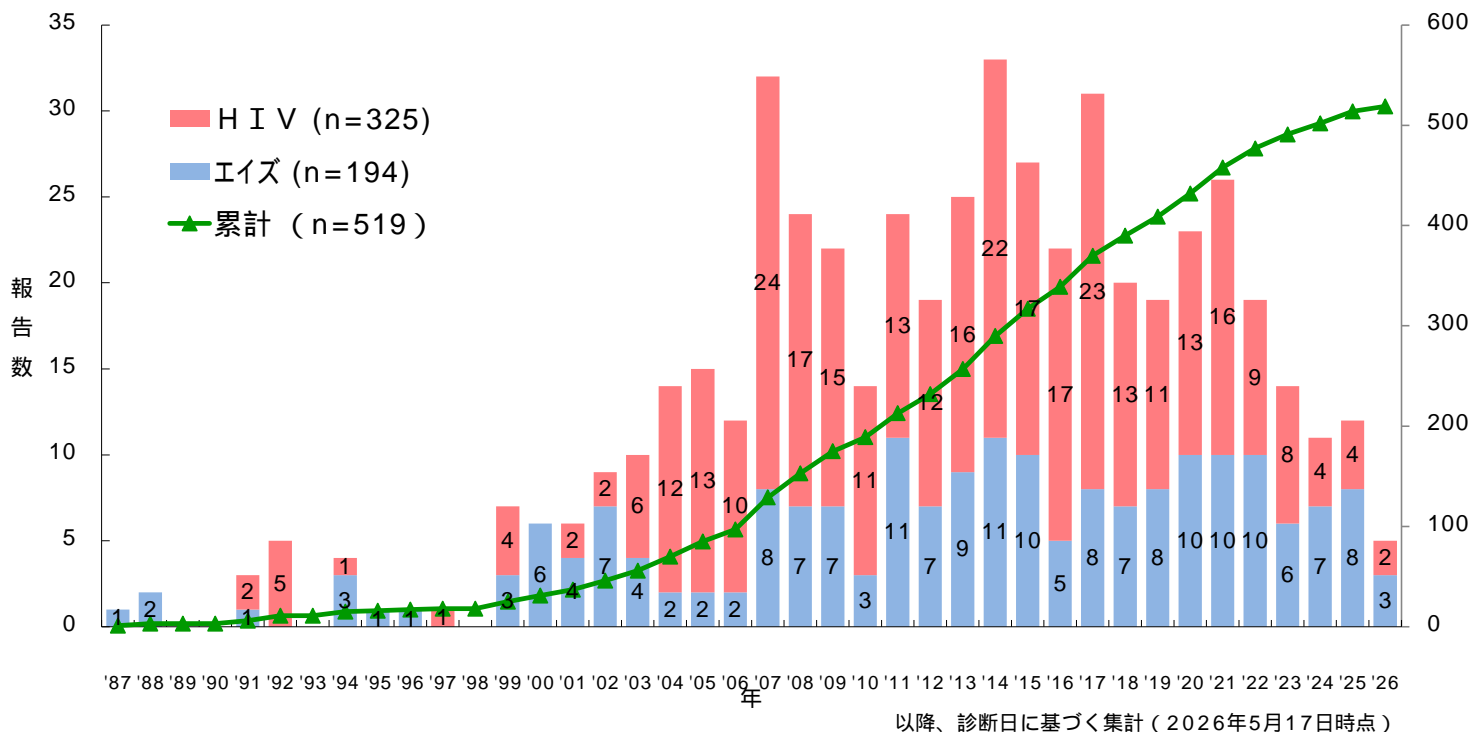
<https://www.std-lab.jp/e/47AA02>



↑スマートフォンをお持ちの方は
こちらのQRコードからもアクセス可能です。

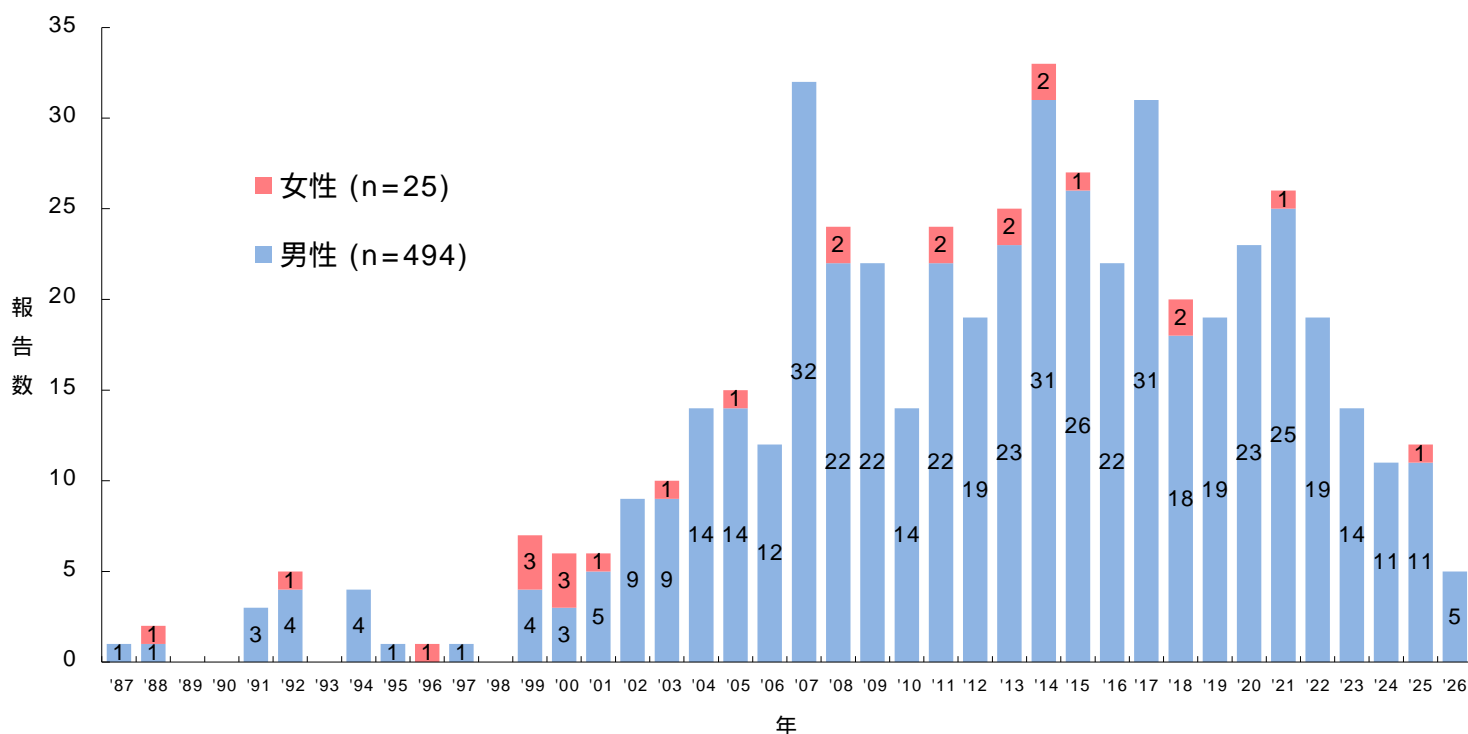
1. HIV感染者 / エイズ患者の年次推移

- ・2025年の報告数は、12件（HIV 4件、エイズ 8件）で診断時に既にエイズを発症している患者の割合は66.7%で、全国平均の約30%と比べて高い値を示している。
- ・2026年の報告数は、5月17日時点で5件（HIV 2件、エイズ 3件）。
- ・累計報告数は519件で、2007年以降は年間11～33件で推移している。



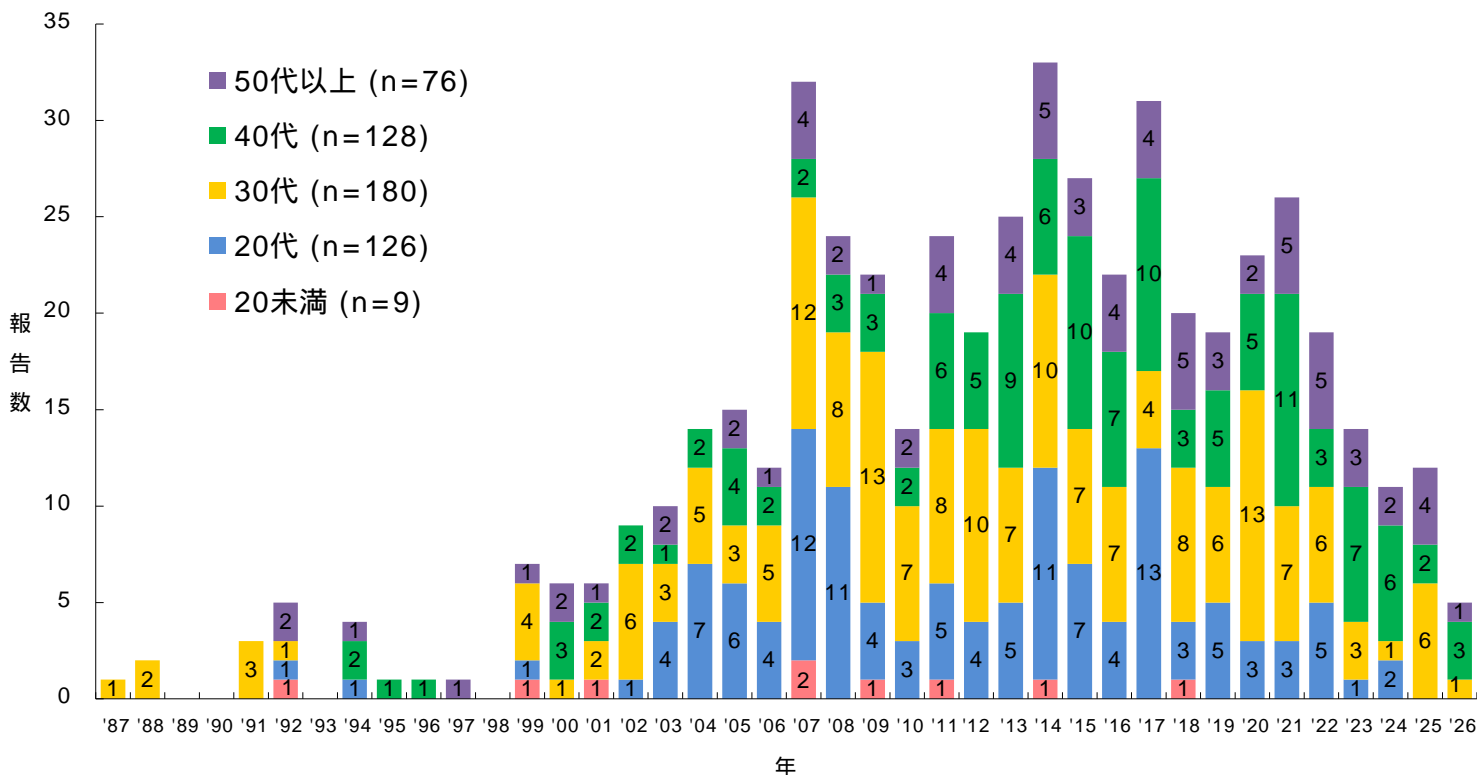
2. 男女別

- ・累計では男性が95%を占めている（男性494件、女性25件）



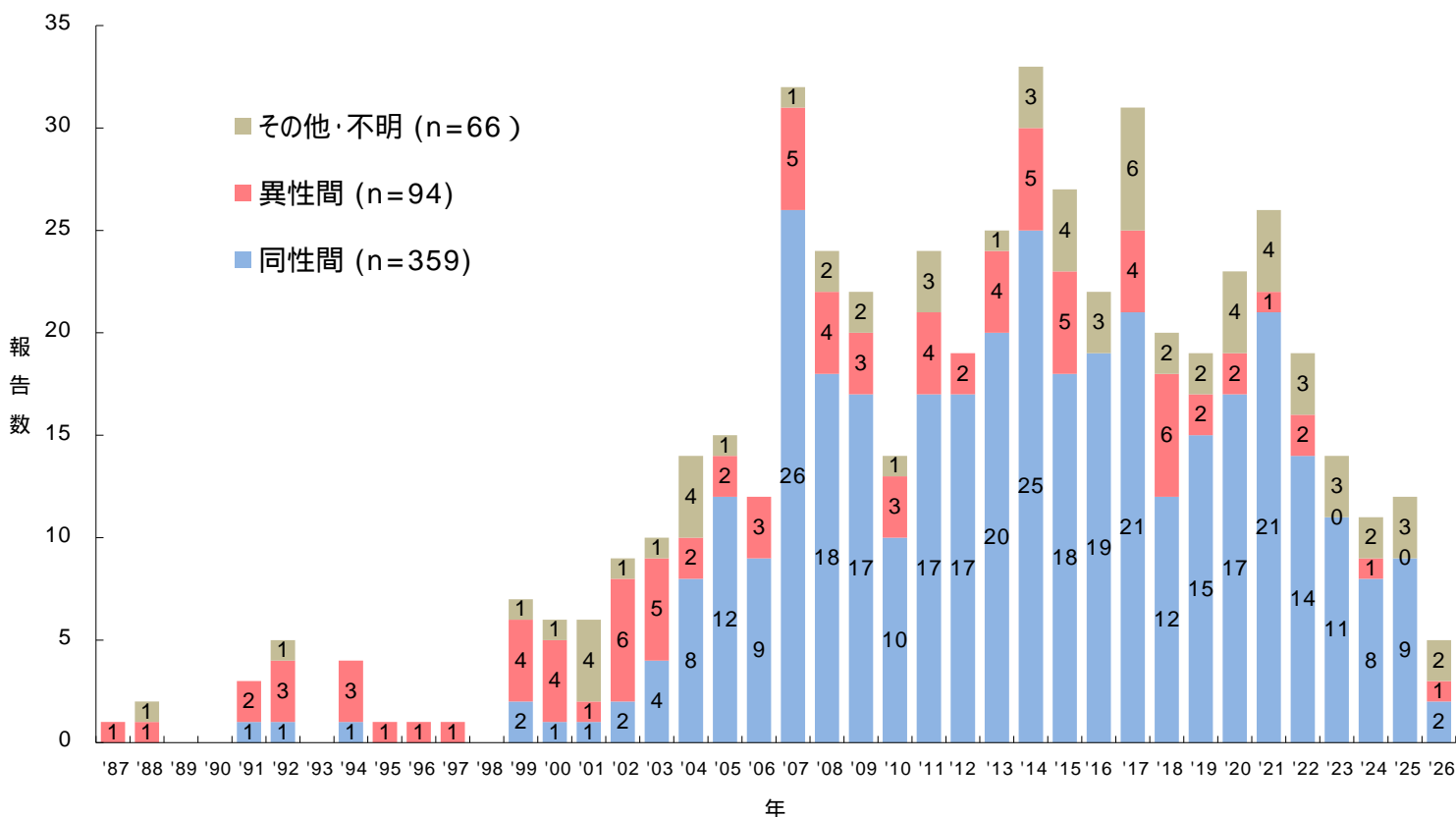
3. 年代別

・多い順に30代が180件（35%）、40代が128件（25%）、20代が126件（24%）、50代以上が76件（14%）、20歳未満が9件（2%）で、20～50代に幅広く分布している。



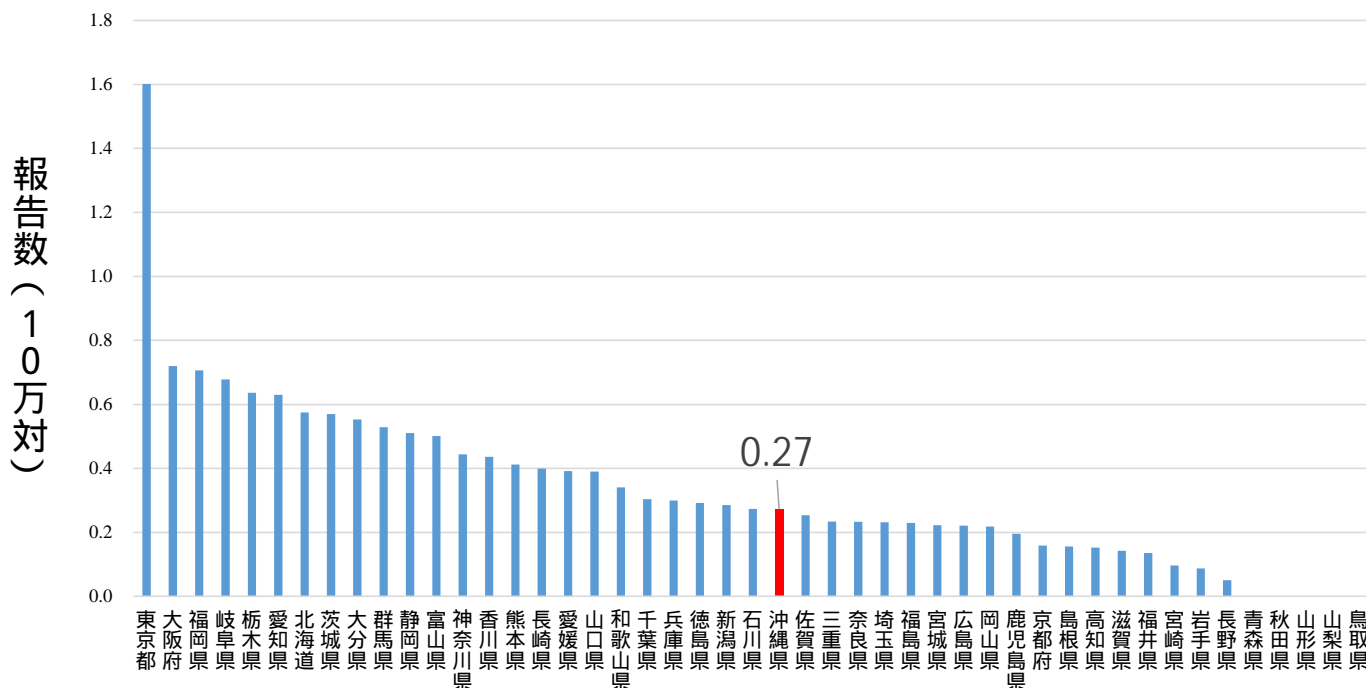
4. 感染経路別

・2005年以降、男性の同性間による性的接触感染が約6～9割を占めている
 ・異性間による性的接触感染も、ほぼ毎年数件確認されている



5. 都道府県別 人口10万対H I V感染者報告数 (2024年)

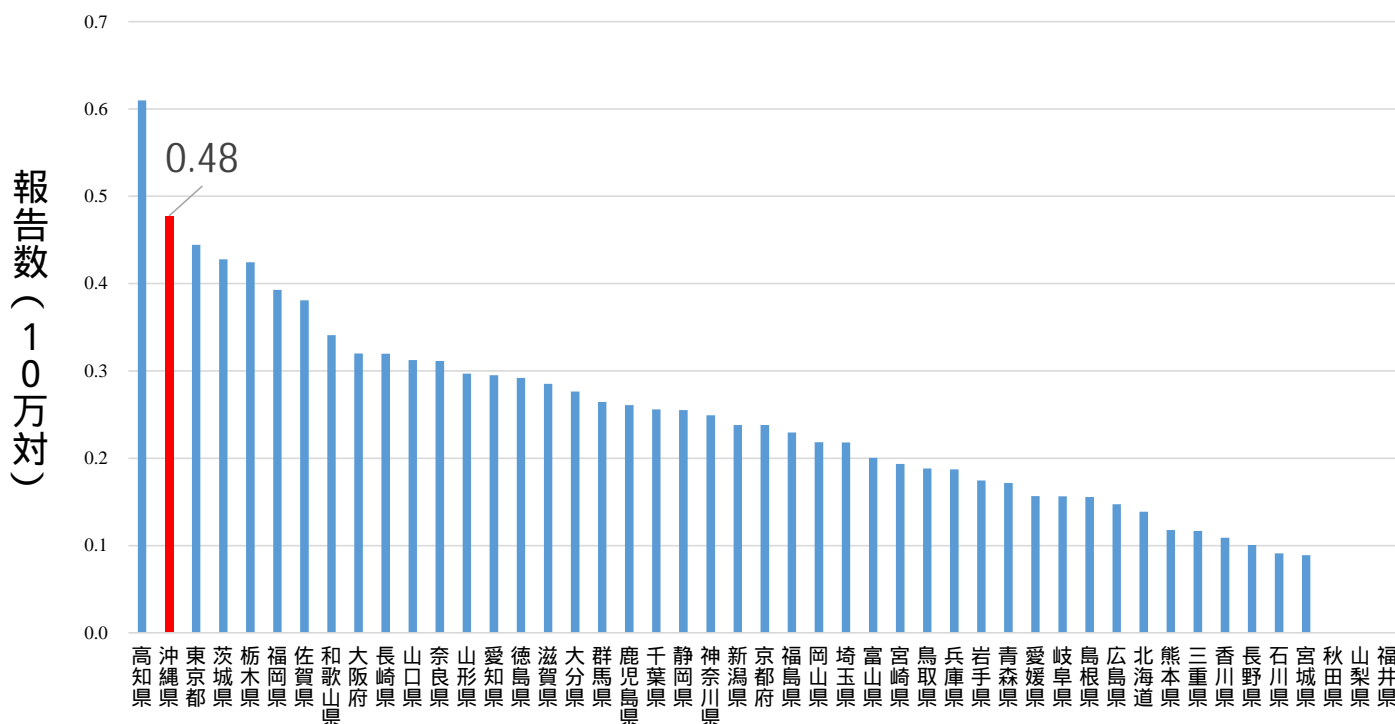
- ・ 沖縄県のH I V感染者数は、人口10万人あたり 0.27人で
全国25番目に位置している



以降、エイズ動向委員会「令和6年エイズ発生動向調査」より

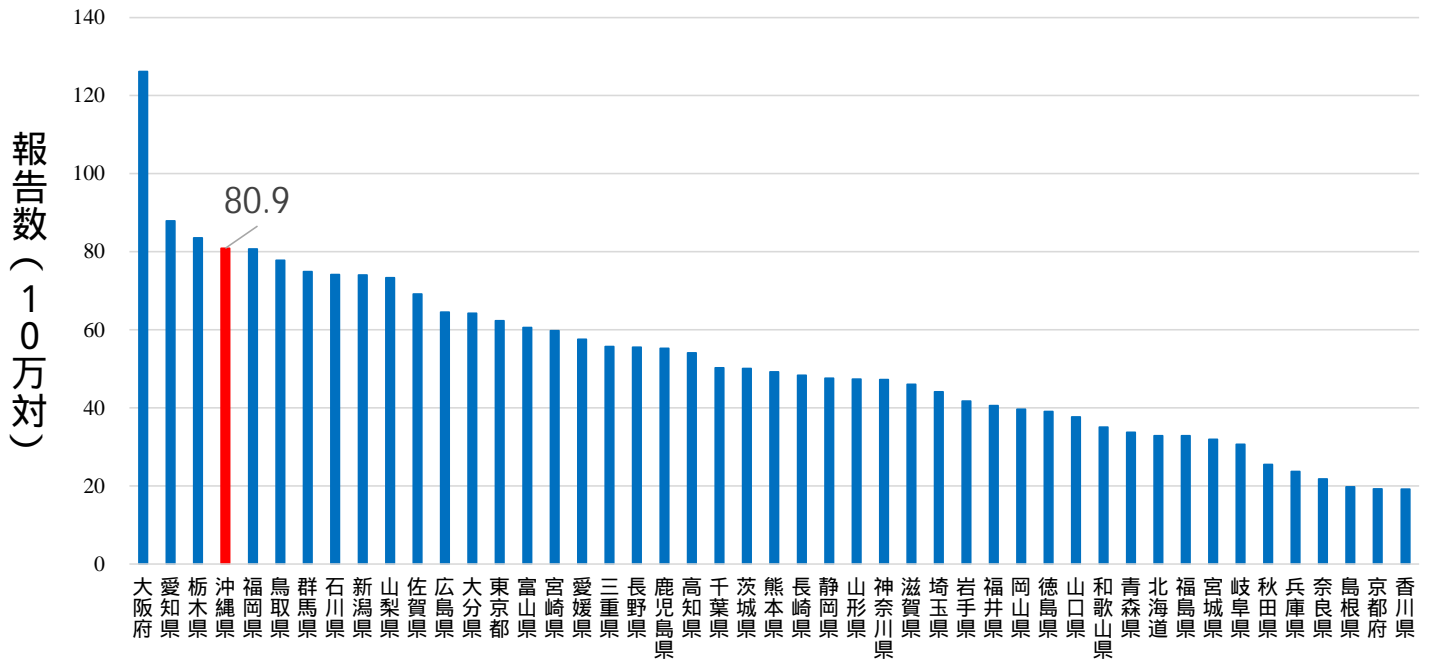
6. 都道府県別 人口10万対 エイズ患者報告数 (2024年)

- ・ 沖縄県のエイズ患者数は、人口10万人あたり 0.48人で
全国2番目に位置している



7. 都道府県別人口10万対 HIV抗体検査件数（2024年）

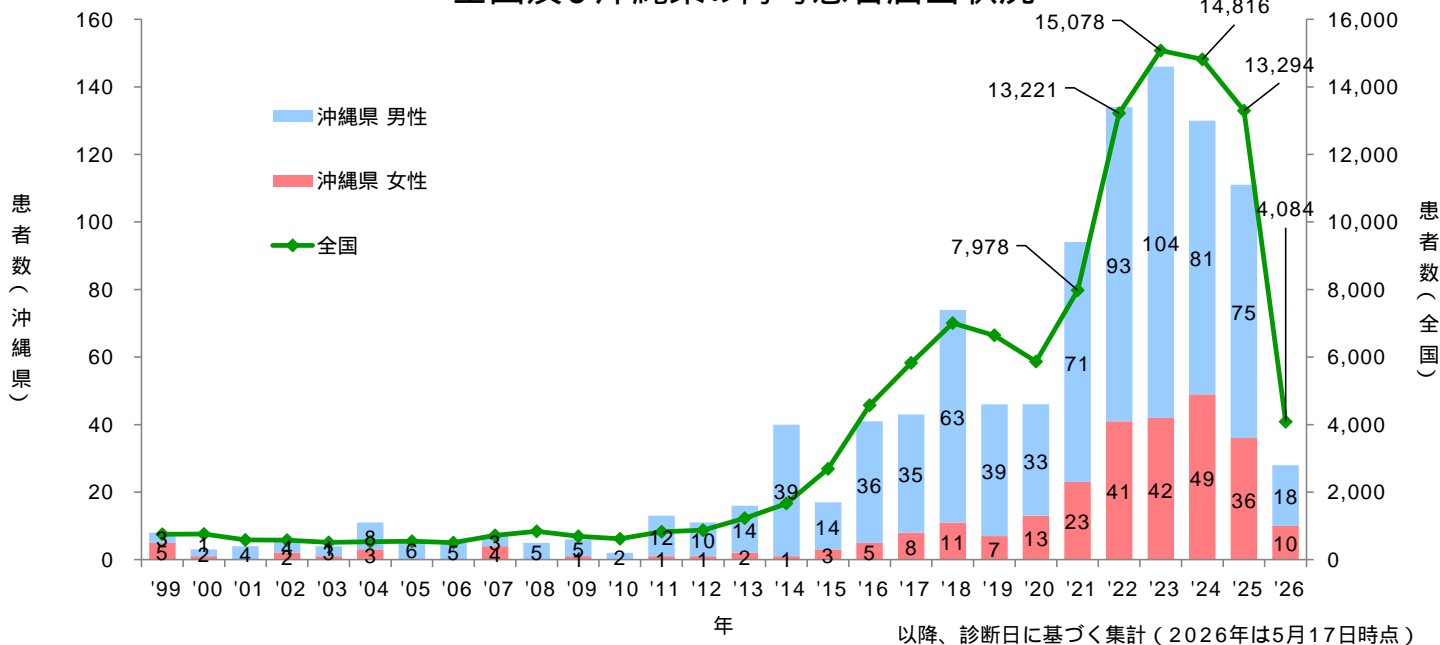
- ・ 沖縄県の保健所におけるHIV抗体検査数は1,186件となっており、人口10万人あたり 80.9人で全国4番目に位置している



1. 梅毒の年次推移

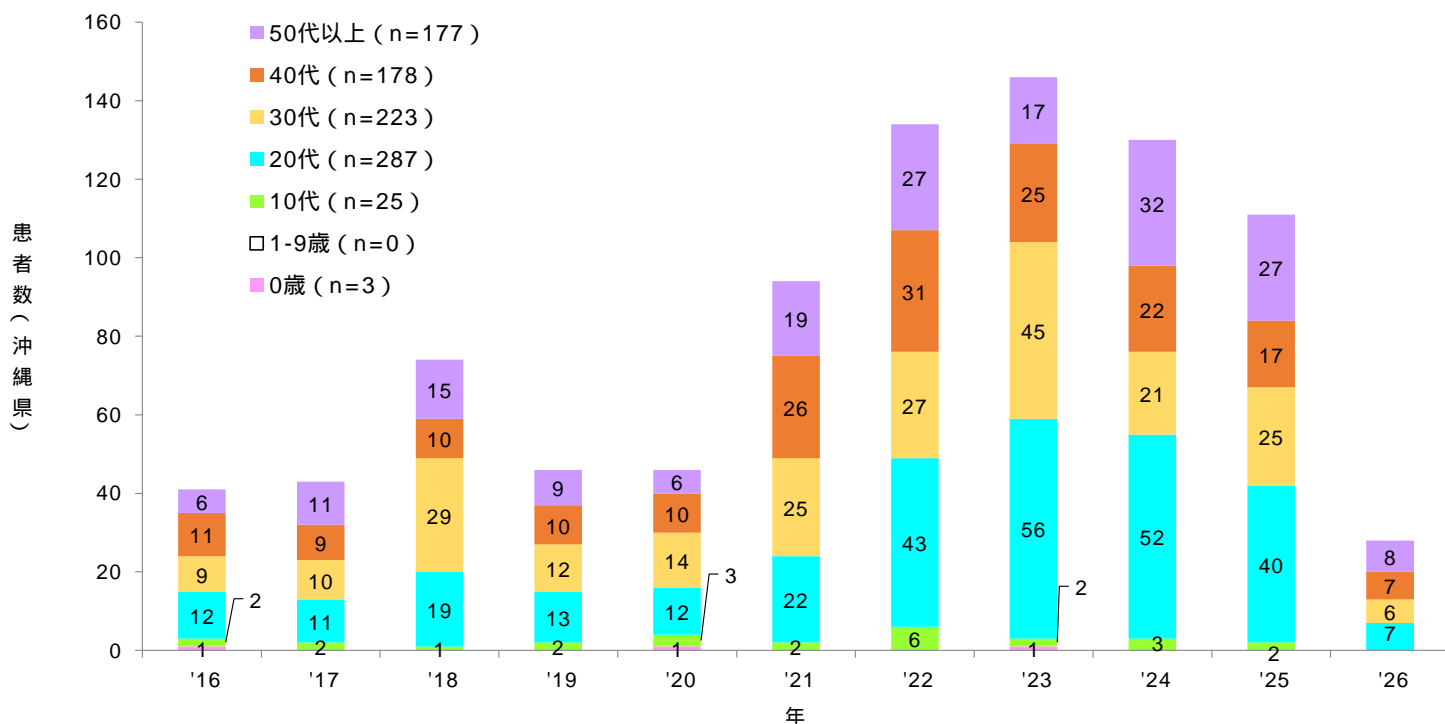
- ・2021年以降、梅毒の報告数は全国的に増加傾向にある
- ・感染症法による届出対象となった1999年以降、全国及び沖縄県の報告数は2023年をピークとし、現在も多い状況が続いている。
- ・県内の2025年の報告数は、111件で男性75件、女性36件
2026年（5月17日時点）の報告数は、28件で男性18件、女性10件

全国及び沖縄県の梅毒患者届出状況



2. 梅毒の年代別報告数

- ・近年では、20～50代以上に幅広く分布しているが、10代の報告も確認されている。



H I V / エイズ (A I D S) について

- エイズは、「後天性免疫不全症候群」ともいい、H I V (ヒト免疫不全ウイルス) に感染することによっておこる病気です。
- H I V に感染してから2~3週間すると、軽い風邪のような症状がでることがあります。この症状は数日~10週間くらい続き、ほとんどの場合は自然に消えてしまいます。
- その後、数年~10年間くらいは何も症状はありませんが、体の中でH I V がひそかに広がっています。
- 何も治療をしないでいるとさらに進行し、微熱や下痢が続いたり、リンパ節が腫れたり、肺炎などを起こします。
- このような状態になると「エイズを発症した」「エイズになった」といいます。

■ 感染経路

性行為、 血液を介しての感染 (注射器具の共用など)、
母子感染の3つです。

■ 検査と治療

- ・ 検査 保健所：無料、匿名で受検できます。
郵送検査：550円 (検査キット送料)
県内の一部医療機関：有料で受検できます。
- ・ 治療 陽性者には、県内の専門医療機関を紹介します。

現在では、H I V に感染しても、早期診断・早期治療によりエイズ発症を防ぎ、健常者と同様の生活ができます。

また、U = U (Undetectable = Untransmittable) といって、適切な治療により血液中のウイルス量を一定基準未満に抑え続けられていれば、他者へのH I V 感染性も無くなります。

■ 予防

H I V 感染の80%以上は性行為によるもので、コンドームを正しく使用することで予防できます。

梅毒について

- 梅毒トレポネーマという細菌に感染することによっておこる病気です。
- 感染してから3～6週間ほどで、菌が侵入した局所に、痛みがほとんどないしこりや潰瘍ができたり、リンパ節が腫れますが、治療をしなくても数週間でなくなります。
- その後、4～10週間が経過すると、手のひらや足の裏を含む全身の皮膚や口腔内に発疹が出たり、脱毛、発熱や怠さなどの全身症状が出ます。これらも治療をしなくても数週間～数か月でなくなります。
- 上記の症状は再発することもあります。それでも治療せずに数年～数十年が経過すると、体にコブ状のしこりが出来たり、心臓や血管系の症状が出る他、認知症、手足のケイレン、体の麻痺などへ進行する場合があります。
- 妊娠中の女性が感染していると、体内の赤ちゃんへ感染し、流産や死産、出生後の赤ちゃんに難聴や歯の発育異常などの障害が出る原因となります。

■ 感染経路

性行為、 血液を介しての感染（注射器具の共用など）
母子感染の3つです。

■ 検査と治療

- ・ 検査 保健所：無料、匿名で受検できます。
郵送検査：550円（検査キット送料）
県内の一部医療機関：有料で受検できます。
- ・ 治療 抗菌薬で治療ができます。
ただし、完治後も再感染する場合があります。

■ 予防

梅毒への感染はほぼ性行為によるものです。コンドームの正しい使用は効果がありますが、完全な予防はできないため、不特定多数との性行為を避けることが重要です。